永　福

令和５年 10 月 31 日
杉並区立永福小学校

地域から学ぶ　地域とつながる　地域を愛す　永福の子

副校長　　坂田　則章

沿道や校庭の木々が色づいてきました。校舎に沿って立つ銀杏の木からは永福小の秋の風物詩ともいえる銀杏が落ちてきます。ビオトープに目を向けると首を垂れる稲穂が立派に育っています。校内のあちらこちらに夏の厳しい暑さを乗り越えた後の実りの秋を迎えています。11 月は子供たちもこれまでの実り（成長）を学習発表会で表現します。これまでの学びを一人一人が工夫を凝らして表現します。たくさんの御来校と温かい励ましをお待ちしております。

さて、学校では２学期に入り多くの地域各所や地域人材を活かした教育活動が行われています。コロナ禍では控えていた活動も本格的に進んでいます。

１年：柏の宮公園でネイチャーゲーム（生活科）　リースづくり（生活科）

２年：町たんけん（生活科）　芋ほり（生活科）

３年：手話教室（福祉）　弟子入り体験「永福町駅周辺施設・店舗」（キャリア教育）

４年：手話教室（福祉）　共に生きる「車椅子体験・高齢者体験」（福祉）
共に生きる「視覚・聴覚障害の方を迎えて」（福祉）

５年：着付け体験教室（総合的な学習の時間）

６年：お仕事博覧会（キャリア教育）

と、この２カ月だけでもたくさん実施されました。

地域の力を借りて教育活動を進めていくことはとても意義のあることです。「計画・調整・実施・振り返り」の繰り返しで簡単ではありませんが、永福小学校は多くの方々に支えていただき実現しています。特に調整の段階では学校支援本部が中心となって永福小学校と地域をつなげるコーディネートをしてくださっています。このコーディネート自体も地域の力です。いつも子供たちのためにご尽力いただいています。ありがとうございます。

地域に出ることで身近なところにも新しい発見をし、地域の人とかかわることで子供たちは学びを深めています。そして、これらの活動を通して永福の街とのつながりを深め、自分の住む地域を愛する気持ちを醸成していくのではないかと思います。ぜひ保護者の皆様にも、ちょっとしたお散歩の折に…、近くでの買い物の際に…、公園に遊びに行くときに…　子供たちと一緒に自分たちの住む街『永福』に目を向けお話をしていただけたらと思います。

これからも地域に根差した永福小をよろしくお願いいたします。

11月の生活目標『ありがとうの心をもって行動しよう』

「ありがとう」は魔法の言葉。この言葉を聞くと苦労や疲れが吹き飛び、笑顔になり、心が温かくなります。

学校への登校途中にも、登下校中の見守りをしてくれている地域の方々や、交通指導員、わんわんパトロールの方々…たくさんの「ありがとう」があります。学校生活の中では一緒に学び遊ぶ友達、教員、給食調理員、事務や用務の職員…ここにもたくさんの「ありがとう」があります。

自分の周りの「ありがとう」に気付き、「ありがとう」その気持ちを声に出して相手に伝える…温かいつながりが学校だけでなく、家庭や地域にも広がっていくよう指導していきます。